

学科名	生物環境科学科						
科目名	ライフデザイン Life Design						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	必修科目(バイオサイエンスコース) 必修科目(食品生物資源コース) 必修科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	アウトソーシング(学研メディコン:嶋田 文広)(学内担当:日高 健)						
授業の到達目標(シラバスから)	①人間関係能力の醸成-他との関係を磨きその中で自分を活かす ②意思決定能力の醸成-最善の決定をしてその結果に対応できる ③キャリア設計-自らのキャリア設計を実現する能力を身につける ④キャリア情報検索・活用能力-自分や家庭、仕事、社会への理解を深める ⑤良い習慣を身につける-主体性を持って、時間管理やビジネスマナーを身につける						
日程と内容	第1回 授業の目的と受講ルールの説明-「なぜ、キャリア教育が必要か？」 第2回 仲間を広げていこう - 同じ学科の人と、たくさん話そう 第3回 社会の鏡を覗いてみよう - 他者の視点を受け入れてみよう 第4回 自己理解を深めるI - 自分マッピングの作成 第5回 大学で何を学んでいくのか? - 他者の生き方に学ぶ 第6回 先輩から学ぶ - 行動を起こす勇気づけをしよう 第7回 学生生活の目的・目標を考える-やりたいことマップの作成 第8回 自分の「壁」を越えられるか? - 考えることの重要性 第9回 人生は選択の連続 - 自分の意志で人生を選択する 第10回 学生生活の目的・目標を描く: デザイニング・キャリア 第11回 人生をマネジメントする - 人生は時間でできている 第12回 基礎学力チェックテスト 第13回 グループワークの体験 - 自分の強みをグループで発揮する 第14回 ディスカッションをしよう - コンセンサスを目指す 第15回 振り返りと未来へ - 成長を確認し、課題と目標を見つける						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	75%		プレゼンテーション			
	課題	25%		計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	今期のライフデザインのプログラムの特徴は初年次適応に重点をおきました。「仲間作り」「チームビルディング」「自己理解」というキーワードを中心としアクティブラーニング主体の授業展開により、対人関係技能の向上やキャリアデザインへの気づきと体験を実践しました。毎回提出するミニツツレポートの内容と授業態度の変化を見ると人間関係能力とキャリア設計能力は確実に向上しました。						
反省点	アクティブラーニング主体の授業展開を行いました。固定した机でのグループワークになるので、姿勢や態度などを保つことが難しい状況になる場面が見受けられた。ただし、後半に進むにつれて、慣れてきて、うまく展開できるようになりました。ワークの時間を多く取っていたため、グループおよび個人での振り返り時間が少なくなりました。次年度は振り返りもしっかりできるように授業展開をしたい。						
来年度の計画	テーマは、「職業的進路選択能力の向上」と「コミュニケーション能力の向上」とします。学生が自分のキャリアをデザインする力を持つことと対人関係の技能とチームビルディングを主体に授業を構成します。「体験学習サイクル」型のプログラムを授業の骨子にしたいと考えています。テーマに沿ったアクティブラーニングはもちろん実践しますが、学習サイクルをきちんと回すことを繰り返し行うことで、生きた学びの習慣化を定着させたいと考えています。						
授業評価アンケートに対するコメント	社会人基準の授業ルールを徹底させることで、遅刻や挨拶等の規律性を高めるようにしました。授業アンケートの自由記述欄では、最初は厳しいと感じたが、遅刻で授業が中断したり、私語もない環境で授業を受けることができたという感想が多くありました。授業評価をみると授業への満足度は高かったと認識しています。ただし、事前事後学習の評価点が低かったことを反省して、次年度は事前事後学習の課題を適切に授業にフィードバックできるようにします。						
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	69名	合格率	100%